

ジブチ政府に対する支援物資の提供について

1. 背景・経緯

2011年夏に、アフリカ東部の「アフリカの角」地域において、過去60年間で最悪の干ばつによる重大な食糧危機が発生したため、わが国政府においても、国連世界食糧計画（WFP）、国連児童基金（UNICEF）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）等の国際機関を通じて食糧支援を実施してきた。

このような中、同地域にあるジブチ共和国は、ソマリア沖・アデン湾におけるわが国自衛隊等による海賊対処行動に継続的な支援を行っていただいていることから、当協会としても2011年9月に緊急的な食糧支援物資の提供を行った。

しかしながら、その後も依然としてジブチ共和国では深刻な食糧不足が続いていることから、同国に対して第2回目の食糧支援物資を提供し、日頃からの感謝の意を表すこととした。

なお、同支援物資の提供にあたっては、わが国外務省、防衛省、在ジブチ共和国日本国大使館の多大なるご協力をいただいた。

2. 支援物資内容

- ・長粒米（タイ米）：25kg×78bag（約2t）

3. 支援物資の輸送方法

- ・日本船主協会から外務省に対し、支援物資の提供
- ・外務省から防衛省に対し、自衛隊の派遣海賊対処行動航空隊の物資輸送に使用される輸送機（C-130H）による輸送支援を依頼
- ・輸送スケジュール： 1月10日 航空自衛隊小牧基地 出発

↓

1月13日14時頃（現地時間）ジブチ活動拠点着

↓

1月16日 ジブチ共和国アルタ州所在の小学校3校に引き渡し

4. ジブチにおける引渡しの様子

1月13日、ジブチ駐留日本国自衛隊拠点において、日本側から西岡 淳駐ジブチ共和国特命全権大使、自衛隊現地調整所長加藤 雅巳1等海佐、ジブチ政府側より国民教育・職業訓練省の高官が出席の下、当協会によるジブチ政府に対する食糧支援物資到着式典が行われた。16日、ジブチ共和国アルタ州所在の小学校3校において、西岡大使、加藤自衛隊現地調整所長、ならびにジブチ政府の参列の下、支援物資の引渡しが行われた。この際、現

地マスコミも参加し、その模様はジブチ国内において大変好意的に報道された。

支援物資のジブチ到着（2013年1月13日（日））



ジブチ到着



搬送される支援物資

支援物資の現地ドゥーダ小学校へ引き渡し（2013年1月16日（水））



小学校へ搬入



引き渡し式



西岡淳駐ジブチ共和国特命全権大使（左側）より現地の子供たちに支援物資が渡された。

以上